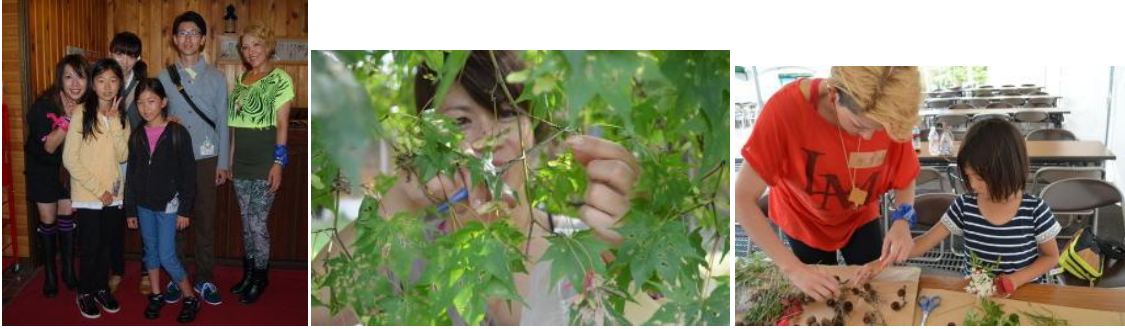


スタッフの感想



9/14-16の3日間 こどものつどい in 岩手 に参加しました。
10/26にも報告会をする予定だと思いましたが、
みんなひとりひとりの感想をその場で述べるのは時間もかかると思うので
前もって、すこし文章にしておきたいと思います。

わたしにとって東北に行くこと自体がはじめてでした。
なので、被災前と被災後どちらがうかをこまかく感じることはむずかしかった
今回は津波の被害の大きかった沿岸部は通っていないのもあるし、
職場の関係者で宮城県名取市に住んでいる方がおり、家が半壊したと聞いていたのですが
電車で通ってみると、キレイに整備されたあとでした。
仙台から岩手への移動中、みどりの風景にとっても癒され、西日本の山の景色とはちがう雄
大さを感じました。

到着してすぐにえりさんが提案したこけアート（ちかくにあるこけや木の実、はっぱ、花
をあつめ
紙コップに生けました）をお手伝いしていたのですが、参加者のお母さん、こどもたちの
あかるさ、すなおさにふれ、たいへんなめにあっているんだけど、それにまさるおだやか
さたくましさを はやくも見た気がしました。
「公園ではなもはっぱもさわれない、ましてこけなんて特に。。」とおっしゃってて
あたりまえにできることがいかに奇跡か、なにげない日常がどれだけ貴重かも
このあともいてる間ずっと思い知らされていきました。

到着した夜、銭湯で一緒した福島の親子と話すことができました。
3人のお子さんを持つお母さんで銭湯では一番下の1歳2ヶ月の娘さんと一緒でした。

上のおにいちゃんは小学校ではプールも入っているし、体育もそとでしているとのこと、でも下の娘さんはまだちいさくてこわくて外で遊ばせていない（公園とか）と言っていました。

小学校など優先的に除染はしているのですが、もちろん100%安心はしてはいないだろうなあ どんなものかとさぐりさぐり生活しているんだろうなあというのがことばのはしばしですごくかんじられました。

野菜は県外のものを食べている、最近果物は県内のものを食べたりしているとか。。

別のお母さんともはなししたときに、わたしは大阪という遠いところにいるけど、国の対応、東電の対応はらたつし、福島のこと気になるし、ぜんぜんひとごとじゃないもし関西で大地震があったらおなじこと みんな忘れてない まだまだこの問題終わってないよ なんて話をしたときに 福島のおかあさんは どお〜〜って泣いていました。

NL で学んだことがいま福島のひとたちはとくに必要じゃないのかな
ヨガで緊張したからだをゆるめてもらい、ベビマで親としての自信をつけてもらい
大丈夫だよって肩をポンとたたいてあげられる存在でいたい
そう思いました。

私は趣味のバイクの世界で、老若男女の入り交じったイベントに頻繁に足を運んでいたの
で、
色んな職種や幅広い年齢層の人たちと交流を持つ機会が多かったのですが。。

今回の交流も、趣旨は違えども『人と人』が大勢で関わることはとても素晴らしいと再認識しました！

その点から、次回は是非自分子ども達も参加して、多くのことを『体感』してもらいたい
と思いました。

組織は、個人よりも大きなことが実現できるけど
小さい規模でも、もっと頻繁にこういった活動ができないものかと考えています。。



子どものつどい in 岩手に参加して

9/14 15 16 に岩手県八幡平市で開催された福島の親子のためのイベントのボランティアスタッフとして参加させていただきました。

まずは参加するまで。ボランティアに興味はあっても、今までなかなか腰が重く、お金がない、（在職中は）休みがない、家族の事などを言い訳に参加した事はありませんでした。今回は、えりさんやかずみさん、そして周りが背中を押してくれたおかげで、参加してよかった！と胸をはって言えるくらいに素晴らしい経験をさせてもらったと思います。福島について、日本国内で起きている放射能問題ですが、行った事もなく知り合いもない土地なので、どこか遠い存在でした。

8月8日に福島で子どもたちの内部被爆を防ぐ為の活動をされている佐々木るりさんの講演をきくチャンスがあり、そこから放射能問題に以前よりもニュースをみたりネットで調べたりフォーカスしていく私がいきました。

テレビやその他のメディアからの情報よりも、実際その土地で住んでいる人たちの生の声を聞く方がずっと心に響きます。

目には見えないけど、身体や環境を蝕んでいく放射能と小さな体で闘っている子どもたちと、その子どもたちを放射能から必死で守っているお父さんお母さんたちが福島にいるのに。。

原発問題とは違いますが、被爆者の祖父を持ち放射能の後遺症に長年苦しんでいる姿をみているのに、今までテレビをみて胸が痛むけど、どこか遠い存在とってしまっていてごめんね…と思いました。。

でも、わたしは今回が自分のタイミングだったのかな？とも思っています。

現地でのこと

NL スタッフとして行ったことは2日目にかずみさんのリラクゼーションヨガと、えりさんのベビーキッズマッサージ/子育て講座、カタリバ Open でした。

☆1日目は福島の親子到着前に会場設置と清掃していたところ、苔がびっしり生えていて、かなりの量でした。

そこでえりさんのアイディアで、苔と草花やどんぐりなどを紙コップにつめて小さなお庭を作るコーナーをすることに。（苔玉をイメージしたらわかりやすいかもしれません）

苔アートコーナーは女の子中心に思った以上に賑わいました。放射能関係で、草花に触れなかったり、苔もはじめて触ったという子たちがほとんどだったので、思う存分触って作って楽しんでもらえたと思います。

（気に入って3回リピートしてくれた子もいましたし、その子がお部屋でお友達に宣伝してくれて連れてきてくれたりもしました！女子の横の繋がりを再確認！）

天気と時間さえあれば、草花と一緒に探しにいても探検みたいで楽しかったかな？と思いますが、予定外のコーナーだったし他のイベントも盛りだくさんだったので今回はこれでよかったと思います。

2日目は大谷大学の生徒が手伝ってくれて、更にステキな作品を作ってくれていて、それを持ち帰ったりするお母さんたちもいました。

1日目は晴れ/曇りだったので、子どもたちが元気よく走り回っていました。ちなみに、えりさんも元気よく男の子たちと鬼ごっこもしていました！えりさん全速力！！！！

（そして、シャボン玉ってなんであんなに大人になっても楽しいんでしょうねー！笑）

本来はキャンプファイヤーは2日目の予定でしたが、天候の関係で1日目に前倒し。

夜は2日連続で居酒屋がオープン！大人たちはお酒とご飯とつまみと、子どもたちは射的や型抜きなどなどのコーナーを楽しんでいました。

自由に楽しんでー！と言われていたので、人見知りながらいつの間にか知らない人たちの輪に混ざってお酒を飲んでいました。

1日目の最後のテーブルで福島のお母さんたちと話すチャンスはありましたが、ボランティアスタッフとだけではなくて、お母さんたちと話すチャンスも作ればよかったなーと心残りです。（こどもたちのお風呂やベットタイムなどもあったでしょうが…）でもお酒の席はすごく楽しかったです。笑

それぞれが自分たちのペースで楽しんでいて、トラブルもなくみんなが楽しい時間を過ごせたと思っています！

2日目の朝からNLのイベント時間まで個人的には苔アートのスペースのお手伝いをしていたので、あまり他をみて回っていませんでしたが…（ごめんなさい）

あいにくの雨の中でしたが、テントや館内で吹き矢、バルーンアート、フェイスペインティング、ピンボール、お念珠つくりやその他のもの作り、そしてボランティアで全国各地

から参加してくれた団体のフードブース（その土地ゆかりの）があり、とてもにぎわって
いました！

ご飯もとってもおいしくて、ボランティアにきていてこんなおいしいものを食べれるなん
てびっくりしました。

ぷんだりーかとしゃかりきサーカスさんのライブ、かなり最高でした！特に、テツナギマ
ーチの時は歌詞は写真を撮りながらきいていましたが、その時は写真を撮るのに必死とみ
んなの笑顔がキラキラしていてそちらに気をとられてて…汗）、後日歌詞をみながら yout
ube で聞くと、何度再生しても涙がこぼれてきました。

明るいつテンポの歌だけど、福島でたくさんの覚悟をしながら生活している親子の素直な声、
大切なメッセージが込められてたり。シンプルで、でもダイレクトで。あの場にいた子ど
もとママたちがかいた詩を集めて出来た歌だったので、余計にぐっとくるものがあったの
かもしれません。

そうでなくても、誰が聞いても胸に響いていく歌ですよ。

しゃかりきサーカスさんの歌の時は子どもたちが、ぼわーっとしてステージ前で聞き惚れ
ていたのが印象的でした。

いい音楽はこどもの内にライブでたくさん聞いてほしいですね。こどもたちの反応はすご
く素直で見ているところがほかほかしました。

午後からのNLのヨガクラスは、大広間で奥が子どもとお母さんの休憩スペースでガヤガヤ
している中で行いました。

約20名ほど参加者がいたと思います。小学生から60、70代くらいまでの参加者が。
男性も何名か参加してくれました。

賑やかな場所で行ったんですが、途中からぐっすり寝ている参加者もいたりして…終わ
った後は気持ちよかったねー！という嬉しい声も飛び交っていました。

その後の子育て講座、カタリバでは食のこと、ホルモンのこと、布ナプの話などで話が尽
きないくらいに盛り上がりました。

えりさんの言葉でぼろっと泣いてしまうママたちが続出！

身体をゆるめて、そして話す事で心もゆるめて、おいしいハーブティーでまたほっこりし
て。

普段、肩がかちんこちんになるくらいに上がってるくらいに頑張りすぎているお母さんた
ちがほぐれたと思います。

じっくりは見ませんが、子どもの集いに参加していた1人の男の子に10円玉ハゲが出来ていて。。小さな体で色々と抱えているのかな、。。

親子ヨガやママヨガ、子育て講座など福島でどんどん広がっていけばいいですね！

その土地に住んでいるインストラクターが誕生して、福島でももっと輪が広がっていけばいいな、と思いました。

ほしいもの なりたいもの ねがいごと たのしかったことの4つのお題から選んで紙に書いてはっていくと、えりさんが問屋さんでもらってきたおもちゃなどをもらえるとこのイベントの一つで行いました。

ようちえんの先生になりたい、とか海で遊んだのがたのしかった、とか。1人の子はそとであそびたいな、ってかいてて。。胸がぎゅっとつぶれそうになりました。

夜はレストランでしゃかりきサーカスさんやぷんだりーかさんのライブを聞きながらご飯を食べたり、お酒のんだり。贅沢な時間をすごせました。

こどもたちの笑顔、笑い声、叫び声（笑）、走り回ってる姿、純粋な目、ボランティアのお兄さんお姉さんたちに甘えるときのかわいい顔、ちょっと大人びてるけどまだまだかわいらしい中学生たち、子どもと一緒にってはしゃいでる大人たち。

3日間、ボランティアにいったのに、わたしの方がたくさん元気をもったし、色々と自分を見つめ直すきっかけにもなりました。

目的はただひとつ、福島の親子に思う存分楽しんでほしい！！というのがあふれていて、すごくいい気が流れていました。

福島のお母さんと話しているときに、福島のことを講演で聞くまでは、同じ国内でも行った事もなく震災の時も九州は揺れなかったし、わたしも仕事と介護でいっぱいだった時期だったりして、どこかテレビの中の世界としてしかみてなくてごめんなさい、でも生の声を聞いてまだまだ原発問題や放射能のこと、被災地のことは終わっていないし、忘れてないですよ！と話す時、福島のことを終わってないって言うてくれてすごく嬉しかったです、ぼろぼろ涙を流しながら言うてくれました。

わたしも介護のことでどうしようもない時期は、何か出来る事はないかもしれないけど、いつでも応援してるよ、気にかけているよ、困ってる時やどうしようもない時はいつでも声かけてね、と言うてもらえるだけで、1人じゃないんだって思ってたことをなんだか思い出しました。

福島でもそういう声を待っている人って多いのではないのかな??と思いました。

放射能問題は孤独な闘いかもしれないけど、その代わり福島のことを応援してくれている人たちに出会ったり、色んな土地にいくチャンスがあったりそこでの出会いもあったりで、マイナスばかりではないんですよ！とも言っていました。

マイナスばかりに目を向けずに、感謝の気持ちをもっていて。

あのイベントに参加していた子どもたちはこういうお母さんたちや大人たちに囲まれているから、優しい子たちばかりだったのかな？とも個人的には思いました。。

お孫さんの引率していた女性も、放射能線量の関係でここはダメでここはいいとか、同じ敷地内でも差がありすぎて戸惑う。放射線量が高い瓦礫やものは片付けもできずそのままだったり、いつ処分されるのかも全くわからず放置されていたり。

食べ物に関してもわたしたちはもうこれから高齢になるからけど、孫たちはまだまだこれからだからね、影響がないものを食べてほしいよね。これからどうなるか全くわからなくて見通しが見えないけどね。でもこうやって何も気にせず走り回っているのをみるのは嬉しいね。と話されてました。

最後に…。岩手の後は、宮城県に2泊3日して、最後の日空港に行く前に名取市の閑上地区をみてきました。海が見えないところでも津波の被害があったところ、地盤沈下してしまったり、海の近くはほとんど家が流されていて、家も壊されて草も生えてきていたので、言い方は適切ではないかもしれませんが遺跡というか、一面の草原のような…そんな雰囲気でした。でもそれでも311前にはそこで暮らしている人たちがいたんだな…と思うと何とも言えない気持ちになりました。

友人宅は津波の被害はなかったけど、今でも海をみるのは怖いそうです。

どんなにみんな各地で散らばっていても、仏閣でのお祭りがあると自然と地元が集まってくるそうです。

そして、宮城の仙台、名取市で支援活動にいち早く駆けつけてくれたのは阪神大震災を経験した兵庫県の方たちだったとか。。

(実際、毎月ピーチに乗って支援活動もされてるそうです。もうリタイアしている60代の方たちが中心みたいですが…)

あの津波が迫ってくる中、地震で踏切の遮断機がおりたままで、真面目な日本人の国民性で遮断機が上がるのを待っていて渋滞になり津波に巻き込まれた人たち。車を捨てて歩いて移動した人は助かったりしたそうです。

おじいちゃんから津波が来たらとにかく木に登れ！と言われてきてたので、先生の指示を破って木に登って助かった小学生。。

津波がくるまでに時間があつたから、お金を家に取りに帰って津波に巻き込まれてなくなつた人はかなりの数だつたそうです。

そして、311の1週間ほど前に大きい地震があつて津波警報でたけど、津波が来なかつたから油断してしまつた人たちも多かつたとか。。。わたしも実際みましたが、閑上には昔から津波被害が多かつたみたいで、その都度石碑で津波のことを記していて、次の世代に伝えようとしていたで、石碑もわたしは4つほどみました。

福島のこと、他の被災地のことも、どんなに辛いことだつて語り継ぎや伝えていくこと、発信することって大切なんだな、と改めて感じました。

まだまだ問題は山積み、決して終わつてゐるわけではないんだなと。。

無関心になってしまうのが一番怖いですね。

それぞれのペースはあると思いますが、少しでも被災地に311後に募金したからおわり！とかではなく、もっとこれからもみんなで寄り添つていきたいですね。（説明がなんだか変な感じでごめんなさい）

わたしの思つていることを、ばーっとかいたのでもしかすると言葉足りずだつたりするかもしれませんが、東北での記憶をわたしなりの言葉にしてみました。余談、乱文失礼しました。

子どもたちにとって、大切な思い出のひとつになると嬉しいです！！



皆さんがほとんど書いてくださつているので私から報告することは特にありません（笑）
しっかり親睦会でお話ししますが、まずは福島だから…とか被災地だからという事ではなく 人を喜ばせるためにはまずは『自分が楽しむ！』
ということが、いかに大切なことで、それが間違つていなかった！ということが私の中で立証されたイベントだつたと思います。

私、Kazumi、Hiromiさんは前日から後泊までしたので5日以上いましたが
その間私は何度「楽しいねん」を色々な人に連呼したことでしょう（^^）
Kazumiさんには、今まで私と付き合ってきて「ERIのそんな笑顔見たことない！」と言わ
れるほど。
そして楽し過ぎて満腹中枢がおかしくなりどれほど食べたか…(笑)

色々な人と話し、色々な人と交流し、色々な人と遊んだ。
だからこそ伝わること。
帰ってからも沢山のお母さんやスタッフさんからメールやメッセージをいただいています。

何かしてあげるなんておこがましい…今回は『私が一番たのしんだ！』と自負出来るほど
『楽しもう！』と決め参加
実際満足ではないですが子ども以上に楽しんだ！と言い切れるほど。
そんな姿を見てくれたからこそ伝わったひろみさんのメール。
了承を得ていませんが。。（笑）
「ボランティアに行くか行かないか迷っている時に背中を押してくれてありがとうございました！
えりさんがイキイキしていたり、なぜえりさんの周りには人が集まるのか、なんだか改めて納得した日々でした
えりさんが子供たちを見つめたり、遊んだりしている時の眼差しがあまりにも優しすぎて
一日目密かに泣きそうになった私がいきました。（省略）」
こんな素敵なメールをもらえることに感謝。
私の宝物です。

でもNLとして参加したスタッフさんにはもっとしてほしかったこと、もっと出来たであろ
うことがあるような気がします。
ベビマで伝えている「触れる」事どれだけの人に出来ましたか？
言葉ではなく態度で示すことの大切さどれだけ理解出来ましたか？
そんな事を『伝える』立場の人として考えてもらえると嬉しいです。
今回の反省点や改善点はまた次回のイベントや来年のイベントでクリアできるように頑張
りましょう。

もちろんこれは今回のボランティアに参加した人だけではなく、すべてのインストラクタ
ー&アシスタントの方も同じです。
こういう事が普段からどれだけ出来ているかによって、講座やクラスで相手に伝わる。
だから生徒さんが増える。ファンが増える。

という事につながります。

そして今回の私の反省点。。

自分が楽しみすぎて大事な仲間をほったらかしにしてすみません。

でも個人で楽しむ！何か見つける！ということが出来る人たちだから安心して楽しめたことを改めて感謝します。ありがとう。

もちろん来年も参加しますが、今回子連れの為参加できなかった人。

Hiromi さんからも提案があったように

他のボランティアの人の手を借りるわけにはいかないので

NL の中で子供スタッフを作り、子供ごと参加出来るようにします。

子どもにも、大人にも言葉ではなく沢山感じ取ってほしいから。

それは NL の仲間だから皆さんがそれぞれ出来ると信じているし、子供も大人もひとまわりもふたまわりも大きくなれるから。

そして出来るだけ多くの人とこの気持ちを共有したい。

今回これだけ伝えてもらっても、参加した人としてない人との温度差は縮まらないと思います。

私はそれが寂しい…

NL の活動を続けていきたいと思う人は是非参加してくれたら嬉しいです。

そして今回参加したことで今後大きく変わることがあります。

その報告は親睦会で。



一般社団法人国際 NL リラクゼーション協会
子どもの集いに参加させていただいたスタッフの感想